



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
コード番号 5331 URL <https://www.noritake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 博

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 水口 宗成 TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日 2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	67,801	10.3	4,533	8.1	6,580	15.7	5,175	23.1
2022年3月期第2四半期	61,459	22.5	4,194	—	5,686	765.8	4,206	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7,601百万円 (123.9%) 2022年3月期第2四半期 3,395百万円 (51.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	358.61	—
2022年3月期第2四半期	291.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	175,361	125,654	71.2	8,652.56
2022年3月期	163,562	118,800	72.2	8,183.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 124,885百万円 2022年3月期 118,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2023年3月期	—	90.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,000	11.2	9,000	△3.8	12,500	△0.1	10,000	10.3	692.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期 2Q	14,842,849株	2022年3月期	14,842,849株
② 期末自己株式数	2023年3月期 2Q	409,513株	2022年3月期	409,107株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期 2Q	14,433,568株	2022年3月期 2Q	14,434,306株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は678億1百万円(前年同期比10.3%増加)、営業利益は45億33百万円(前年同期比8.1%増加)、経常利益は65億80百万円(前年同期比15.7%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は51億75百万円(前年同期比23.1%増加)となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(工業機材)

国内では、主要顧客である自動車業界の生産が大幅に減少し、その影響が鉄鋼、ベアリング業界にも広がったことから、売上げは減少しました。海外では北米及び東南アジアにおいて自動車関連向けが減少したものの、ベアリング向けが堅調に推移しました。中国では上海のロックダウンの落ち込みから各業種で徐々に回復し、海外全体では売上げは増加しました。オフセット砥石などの汎用砥石は、国内・海外ともに前年並みとなりました。研磨布紙は、概ね横ばいで推移しました。その結果、工業機材事業の売上高は、293億21百万円(前年同期比4.7%増加)、営業利益は14億78百万円(前年同期比17.9%増加)となりました。

(セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、顧客の在庫調整の影響を受け、売上げは大きく減少しました。電子部品材料は、自動車向けは堅調に推移したものの通信分野向けが低迷し、売上げは減少しました。厚膜回路基板は、一部製品の価格改定等により、売上げは増加しました。石膏は東南アジア及びアフリカ向けが堅調に推移し、セラミックコアは需要が回復傾向にあることから、いずれも売上げは増加しました。蛍光表示管は、コロナ禍からの需要回復と為替の影響により、売上げは増加しました。セラミック原料は耐熱ガラス及び強化ガラス用が大きく増加しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、249億86百万円(前年同期比20.3%増加)、営業利益は27億97百万円(前年同期比3.0%減少)となりました。

(エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池及び電子部品分野が堅調に推移したことにより、売上げは増加しました。混合攪拌装置は、主要分野の食品向けは低調でしたが、新分野である環境・半導体向けが補い、売上げは増加しました。濾過装置は、前年の設備投資抑制が影響し、国内が大きく減少しました。超硬丸鋸切断機は、自動車部品向けが低調で、売上げは減少しました。ロードカッターは前年並みとなりました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、103億67百万円(前年同期比1.8%増加)、営業利益は5億64百万円(前年同期比27.2%減少)となりました。

(食器)

国内は、未だコロナ禍の影響が残るものの、ホテル向けの受注が回復傾向にあることに加え、直営店とオンラインの販売が増加したことから、売上げは増加しました。海外は、米国では主要顧客の在庫調整の影響を受け低迷しましたが、アジア地域において中国・インド向けの販売が伸長したことから、海外全体では売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は、31億25百万円(前年同期比25.3%増加)、3億7百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金並びに商品及び製品が増加したことから、前連結会計年度末に比べ117億98百万円増加し、1,753億61百万円となりました。

負債は、電子記録債務及び短期借入金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ49億44百万円増加し、497億6百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことから、前連結会計年度末に比べ68億54百万円増加し、1,256億54百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ13億67百万円減少し、103億66百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは40億15百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は13億66百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を64億29百万円計上したものの、棚卸資産が67億48百万円増加したことに加え、売上債権が32億10百万円増加したことによるものです。

前第2四半期連結累計期間との比較では、68億11百万円の支出増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は26億49百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得により24億74百万円支出したことによるものです。

前第2四半期連結累計期間との比較では、4億90百万円の支出増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は17億95百万円となりました。これは主に配当金の支払額が11億71百万円あったものの、短期借入金の純増減額が30億5百万円増加したことによるものです。

前第2四半期連結累計期間との比較では、47億92百万円の収入増加となりました。(前第2四半期連結累計期間は29億97百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、本日(2022年11月8日)公表の「業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて記載のとおり、2022年5月10日に公表いたしました通期業績予想値を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,169	13,128
受取手形及び売掛金	29,014	32,353
電子記録債権	4,613	5,325
商品及び製品	10,082	14,315
仕掛品	6,671	8,275
原材料及び貯蔵品	6,456	8,015
その他	2,781	2,789
貸倒引当金	△129	△126
流動資産合計	73,660	84,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,328	18,199
その他(純額)	26,588	27,312
有形固定資産合計	44,917	45,512
無形固定資産	1,588	1,806
投資その他の資産		
投資有価証券	38,330	38,766
退職給付に係る資産	3,825	3,777
その他	1,356	1,543
貸倒引当金	△116	△122
投資その他の資産合計	43,396	43,965
固定資産合計	89,902	91,284
資産合計	163,562	175,361

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,039	10,088
電子記録債務	8,752	11,632
短期借入金	5,600	8,579
1年内返済予定の長期借入金	900	900
未払法人税等	1,991	1,373
賞与引当金	1,641	1,627
設備関係支払手形	91	136
営業外電子記録債務	580	975
その他	5,634	4,986
流動負債合計	35,234	40,300
固定負債		
引当金	682	708
退職給付に係る負債	1,559	1,566
その他	7,285	7,131
固定負債合計	9,527	9,406
負債合計	44,762	49,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,502	18,593
利益剰余金	71,983	76,412
自己株式	△1,161	△1,253
株主資本合計	104,957	109,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,647	13,397
為替換算調整勘定	△2,502	300
退職給付に係る調整累計額	2,018	1,803
その他の包括利益累計額合計	13,163	15,501
非支配株主持分	679	769
純資産合計	118,800	125,654
負債純資産合計	163,562	175,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	61,459	67,801
売上原価	44,633	50,176
売上総利益	16,825	17,625
販売費及び一般管理費		
販売費	8,418	8,692
一般管理費	4,212	4,399
販売費及び一般管理費合計	12,630	13,092
営業利益	4,194	4,533
営業外収益		
受取利息	20	46
受取配当金	370	547
受取賃貸料	233	255
為替差益	201	435
持分法による投資利益	660	741
その他	138	131
営業外収益合計	1,625	2,158
営業外費用		
支払利息	12	8
固定資産賃貸費用	81	65
その他	40	37
営業外費用合計	134	111
経常利益	5,686	6,580
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産処分損	219	152
地中埋設物処理費用	285	—
その他	8	0
特別損失合計	513	153
税金等調整前四半期純利益	5,177	6,429
法人税、住民税及び事業税	1,140	1,363
法人税等調整額	△178	△115
法人税等合計	961	1,248
四半期純利益	4,215	5,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,206	5,175

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	4,215	5,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,514	△249
為替換算調整勘定	812	2,851
退職給付に係る調整額	△117	△214
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	33
その他の包括利益合計	△819	2,420
四半期包括利益	3,395	7,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,351	7,514
非支配株主に係る四半期包括利益	43	87

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,177	6,429
減価償却費	2,314	2,355
貸倒引当金の増減額(△は減少)	96	△8
退職給付に係る負債及び資産の増減額	△228	△251
引当金の増減額(△は減少)	14	25
受取利息及び受取配当金	△390	△594
支払利息	12	8
持分法による投資損益(△は益)	△660	△741
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△3	—
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	503	150
売上債権の増減額(△は増加)	△2,283	△3,210
棚卸資産の増減額(△は増加)	△889	△6,748
仕入債務の増減額(△は減少)	1,718	2,803
その他	201	△220
小計	5,580	△2
利息及び配当金の受取額	390	594
利息の支払額	△12	△8
法人税等の支払額	△513	△1,949
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,445	△1,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,081	△2,474
有形及び無形固定資産の売却による収入	28	15
投資有価証券の取得による支出	△146	△16
投資有価証券の売却による収入	10	—
貸付けによる支出	△88	△74
貸付金の回収による収入	10	13
定期預金の預入による支出	△1,846	△2,342
定期預金の払戻による収入	1,962	2,461
その他	△7	△232
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,158	△2,649
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△49	3,005
長期借入金の返済による支出	△4	—
自己株式の売却による収入	—	269
自己株式の取得による支出	△2	△271
配当金の支払額	△439	△1,171
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,483	—
その他	△17	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,997	1,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	436
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	525	△1,783
現金及び現金同等物の期首残高	9,741	11,733
海外子会社の決算報告期間統一に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	415
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,266	10,366

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日の海外子会社(Noritake Co., Inc. 他11社)については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

なお、当該海外子会社の2022年1月1日から2022年3月31日までの損益については、利益剰余金の増加424百万円として調整しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	28,000	20,778	10,185	2,495	61,459
外部顧客への売上高	28,000	20,778	10,185	2,495	61,459
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,253	2,884	775	△718	4,194

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

建設・土木業向け産業機械、ダイヤモンド工具を販売する連結子会社の日本フレキ産業株式会社は、産業機械の販売比率が高いことから経営管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結累計期間より、帰属する報告セグメントを工業機材からエンジニアリングに変更しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	29,321	24,986	10,367	3,125	67,801
外部顧客への売上高	29,321	24,986	10,367	3,125	67,801
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,478	2,797	564	△307	4,533

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

【ご参考】 2023年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

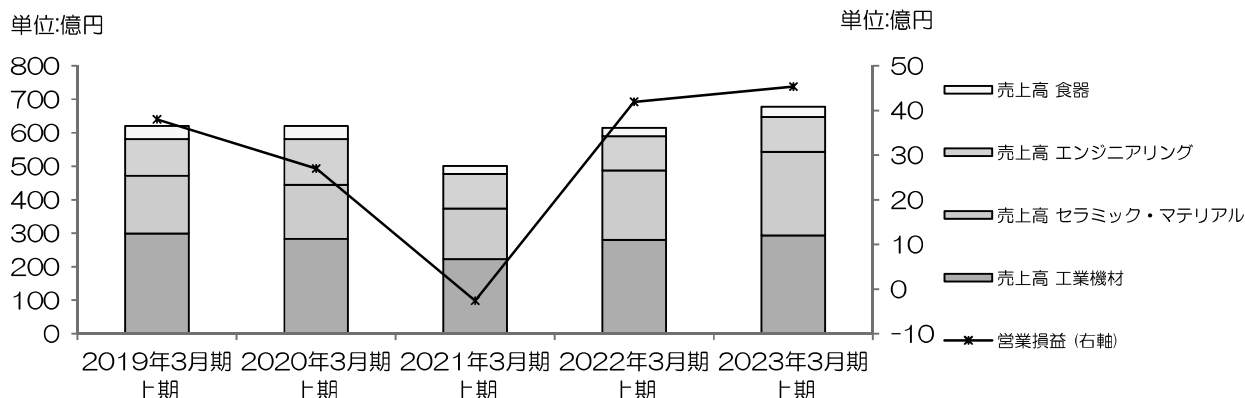
【業績】
売上高 678億円（前年同期比 63億円増収） US\$26.85円の円安、THB 0.29円の円安、CNY 3.15円の円安 により、売上高 21.8億円増加 営業利益 45.3億円（前年同期比 3億円増益） 経常利益 65.8億円（前年同期比 9億円増益） 親会社株主に帰属する四半期純利益 52億円（前年同期比 10億円増益）
【連結の範囲】
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】
特別損失 1.5億円：固定資産処分損 1.5億円等
【中間配当金】
中間配当 90円/株（前期中間70円/株） 期末配当90円/株 予定（前期期末80円/株）

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	299	283	223	280	293	13
	セラミック・マテリアル	173	161	151	208	250	42
	エンジニアリング	109	137	103	102	104	2
	食器	39	39	24	25	31	6
		620	619	502	615	678	63
営業利益	工業機材	10.2	2.3	△ 15.9	12.5	14.8	2.2
	セラミック・マテリアル	20.8	12.7	10.1	28.8	28.0	△ 0.9
	エンジニアリング	12.1	15.7	9.7	7.8	5.6	△ 2.1
	食器	△ 5.1	△ 3.8	△ 6.5	△ 7.2	△ 3.1	4.1
		38.0	26.9	△ 2.6	41.9	45.3	3.4
(売上高営業利益率)		(6.1%)	(4.3%)	(△0.5%)	(6.8%)	(6.7%)	-
経常利益		49.6	37.2	6.6	56.9	65.8	8.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益		40.8	28.1	△ 0.2	42.1	51.8	9.7
1株当たり四半期純利益		283.92円	195.56円	△ 1.44円	291.4円	358.61円	-
1株当たり純資産		7,147.09円	7,245.02円	7,083.18円	7,882.09円	8,652.56円	-
US\$ 為替レート		108.5円	110.0円	108.2円	108.5円	135.3円	-

売上高及び営業損益の推移（2019年3月期上期-2023年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	8	10	16	10
セラミック・マテリアル	7	7	6	8
エンジニアリング	1	1	1	1
食器	2	2	1	1
管理部門	6	4	1	4
合計	25	23	25	24

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2022年9月	対前期比
有利子負債※	48	51	79	65	95	30
現金及び預金	141	126	123	142	131	△ 10
ネット有利子負債	△ 93	△ 75	△ 44	△ 77	△ 36	40

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2023年3月期の予想

(1) 重点施策

長期ビジョン（ありたい姿）「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役へ」を実現するため、今後の成長が期待される「環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング」を成長領域と定めて「選択と集中」を進めます。また、第12次中期経営計画は、「収益基盤の強化と成長領域への仕込み」の期間と位置付け、不採算商品・事業の再編、収益改善・合理化、増産・拡販への対応、経営基盤の強化を進めます。

【工業機材】

- ・事業をオーダーメイド品と汎用品に再編することで、効率的な事業体制を構築します。
- ・オーダーメイド品事業では、成長領域向け製品の増産体制を確立します。さらに、徹底した収支改善、販売拠点の整備等により、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。
- ・汎用品事業では、連結子会社である日本レチボン株式会社と株式会社ノリタケコーテッドアブレーションを2022年10月1日付で合併しました。この合併により、経営基盤の効率化と製造・販売体制の再編を行い、収益力を強化します。また、エレクトロニクス向け製品の増産体制と、成長領域への進出に向けた製造・営業体制を構築し、経営資源の集中を図ります。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と生産能力の増強によるシェアの拡大、新商品の開発を進めます。
- ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強と物流倉庫整備を行い、事業の拡大を図ります。また、成長領域における新商品の開発を進めます。
- ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を図ります。

【エンジニアリング】

- ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化により、シェアの拡大を図ります。自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。
- ・新しい分野（医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。

【食器】

- ・国内は、オンライン販売の強化とホテル・レストラン向けの拡販を進めると共に、流通販路・物流の再整備による経費削減を図ります。海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジア等の主要国での拡販に取り組みます。

【設備投資金額】

設備投資 60億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2022年 3月期	2023年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	573	293	307	600	27
	セラミック・マテリアル	407	250	245	495	88
	エンジニアリング	236	104	156	260	24
	食器	60	31	34	65	5
		1,276	678	742	1,420	144
営業利益	工業機材	30.6	15	15	30	△ 1
	セラミック・マテリアル	54.2	28	14	42	△ 12
	エンジニアリング	20.5	6	15	21	1
	食器	△ 11.8	△ 3	0	△ 3	9
		93.5	45	45	90	△ 3
経常利益		125.1	66	59	125	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益		90.7	52	48	100	9

(下期想定為替レート US\$=140円)